




日本赤十字社 近畿ブロック血液センターの

「薬剤師」になるということ



 日本赤十字社 近畿ブロック血液センター



日本赤十字社 近畿ブロック血液センターの 「薬剤師」になるということ



就職活動において、皆さんが薬剤師として働きたい職場を考えると、まずは製薬会社のMRや調剤薬局、メーカーの研究職などを思い浮かべるでしょうか。



真っ先に『**血液センター**』を思い浮かべる方は...
あまりいらっしやらないのかもしれませんが。
しかし、『血液センター』も医薬品の製造業者の一つであり、日本で唯一の輸血用血液製剤を製造している
製薬会社です。



日本赤十字社
9つの事業

血液事業

血液センターは日本赤十字社が展開する
9つの事業の中の

『血液事業』において、

病気やケガに苦しむ患者さんになり代わり、献血を募集、採血し、その血液から血液製剤を製造、検査し患者さんの元にお届けする一連の業務を行っております。

血液センターで「**薬剤師**」が活躍する場とは？

【医薬品の製造業】

製剤部、検査部、品質保証部
新しい血液製剤の開発を行う研究部等

【医薬品の販売業】

事業部需給管理課の営業所管理者
事業部学術情報課のMR

血液事業のMRは輸血用血液製剤の適正使用を推進するために日々活躍しているんだー



血液センターで「薬剤師」が働く魅力とは？

自らの希望や人事異動で
新しい分野を新たな気持ちで学ぶチャンスに
溢れており、就職時に配属先がほぼ決まってしまう
製薬会社のMRや研究職の薬剤師とは
また違った魅力があります。



血液センターで「**薬剤師**」しかできない役割とは？

血液センターには薬剤師にしかできない役割があります。
「**営業所管理者**」はその最たるもので、営業所管理者を置かずして血液製剤の販売をすることは不可能です。



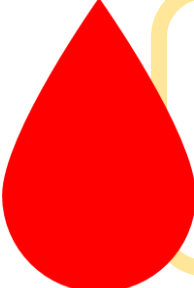
営業所管理者

販売所が稼働できないと血液製剤を患者さんの元にお届けすることができません。

つまり、薬剤師がいないと...

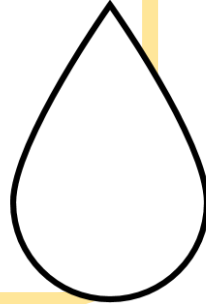
「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも人間のいのちと健康、尊厳を守る」という日本赤十字社としての使命が達成できないことに!!

血液センターにとって「薬剤師」は重要な存在です！！



血液の研究などを通じ、知識を研鑽し学会での発表や学術誌への論文投稿の機会もあります

製剤部では薬剤師が中心となりGMPに適合した製造体制の確立や、リーダーシップを発揮して職種の違う職員をまとめるリーダー的存在になることで、管理者や管理職へのキャリアパスも目指せます。



日本赤十字社近畿ブロック血液センターで
「薬剤師」として活躍してみたいと思った皆さま
一緒に働けるのを楽しみにお待ちしております。

職員採用情報について詳しい情報はこちらから

 <https://www.bs.jrc.or.jp/kk/bbc/recruit/index.html>